

講演会・発表交流会

防災・減災は「知る」から「備える」へ

自分と家族を守る。地域で支え合う。行政・地域・企業とともに、災害に強いまちへ。

日時 **2026年7月11日(土) 13:30~17:00(受付開始 13:00)**

会場 **かながわ県民センター 11階 講義室 1**

参加費：無料

会場参加：申込不要

Zoom 併用 (フォームから)

本年度の講演会では、これまでの災害教訓を踏まえ、首都直下地震をはじめとする都市型災害に対し、自助・共助・公助がどのように連携して備えるべきかを考えます。講師には、黒岩大輔氏をお招きし、行政の最新の備えを学ぶとともに、自助・共助の実践と公助との連携のあり方を参加者の皆様とともに考えます。

第一部 講演会 13:30~14:50

横浜市の減災・防災対策から考える 自助・共助の重要性

講師 **黒岩 大輔 氏**

横浜市防災・危機管理統括本部 防災・危機管理推進部長
横浜市消防局入局後、救急災害医療・消防署長・消防企画等を歴任。
内閣府地域防災マネージャー
総務省災害マネジメント総括支援員 (GADM)
横浜国立大学台風科学技術研究センター客員教授

【講演要旨】 横浜市の被害想定や防災対策の変遷を踏まえ、地域防災拠点や物資備蓄、企業連携の取組を紹介するとともに、自助・共助の重要性と市民・事業者の具体的行動を紹介。



イメージ作成：かながわ・よこはま防災ギャザリング実行委員会

第二部 発表交流会 15:10~17:00

あわせて発表交流会では、各団体の活動や被災地支援の経験を共有し、将来の災害に備える「かながわ・よこはま防災減災体験フェア2027」に向けた連携の基盤づくりを進めます。

能登半島被災地支援の報告から地域の災害対策を考える

- | | | |
|-------------------------|---------|------------------------------|
| ● 神奈川災害ボランティアネットワーク | 齊藤 明良 氏 | 「能登半島被災地支援のボランティア活動」 |
| ● ユーティリティ・ソリューションズ | 中根 圭介 氏 | 「生活用水ろ過システムによる被災地支援」 |
| ● ボーイスカウト日本連盟災害対応タクステーム | 伊藤 郁夫 氏 | S「被災地（珠洲市）支援の現状から」 |
| ● 磯子区災害ボランティアネットワーク | 森本美知子 氏 | 「お話エプロンで防災教育」 |
| ● 参加団体からの自己紹介とアピール | | 「かながわ・よこはま防災減災体験フェア2027」に向けて |



プログラム

※第一部終了後、休憩をはさみ、15:10 から発表交流会を行います。

受付開始 13:00 | 講演会開会 13:30 | 休憩 14:50 | 発表交流会 15:10 | 終了 17:00

対象

- 防災関係行政機関
- 市民団体・企業・一般市民

Zoom 参加希望・お問合せフォーム

<https://forms.gle/DtLSzuw6zxxu66YNA>

Zoom 参加をご希望される方はフォームからお申込みください。
会場参加は申込不要です。

